

桑原志織さん応援レポート

東京芸術大学 学生による

ランチタイムコンサート Vol.15

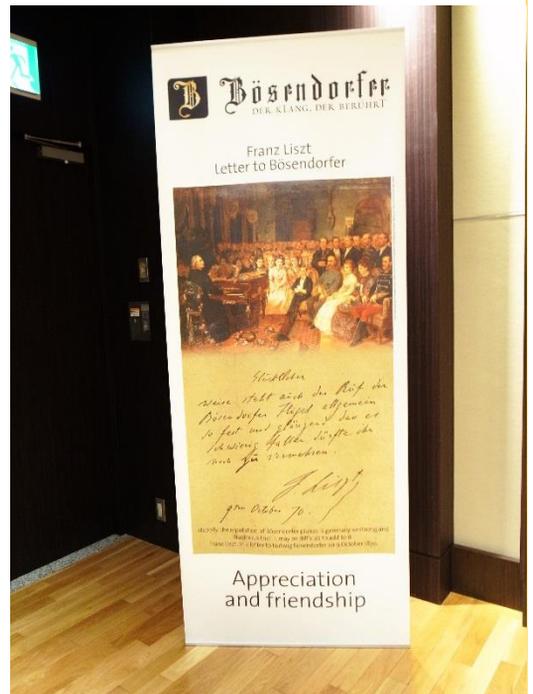
2015年12月18日(金) ベーゼンドルファー東京 サロン

ランチタイムのサロン・コンサート

音楽の都ウィーンを代表するピアノメーカーであるベーゼンドルファー東京のサロンで開催されているランチタイムコンサート、「東京芸術大学 学生による」と銘打たれたシリーズは今回が15回目、出演は、桑原さんと、同じく東京芸術大学2年生の木本 秀太さんの2人。

ピアノはベーゼンドルファー社の「Model290インペリアル」。ベーゼンドルファーの最高位機種であり、通常88鍵を97鍵に拡張した大型のピアノである(鍵盤左側の黒く塗られた部分が9鍵のエクステンダー)。桑原さんが、どんな音色を聴かせてくれるか楽しみだ。

このランチタイムコンサート、毎回楽しみにされているお客様も多いようで、会場はあっという間に満席。追加の席も用意され、二人の出番を待つばかり。



リストからベーゼンドルファー社へ贈られた賞賛の手紙を写したバナー



97鍵のピアノ。
左の黒く塗られた9鍵が
エクステンションキー



Bösendorfer
東京芸術大学 学生による
ランチタイムコンサート Vol.15
2015年12月18日(金)
12:15-12:45 (12:00開場)
ベーゼンドルファー東京 サロン

◆プログラム◆

木本 秀太
東京芸術大学 ピアノ科3年
スタームス
ピアノソナタ第1番 第4楽章 Op.11-1
第1、第4楽章

桑原 志織
東京芸術大学 ピアノ科2年
ストラヴィンスキー
「レクイエム」からの3楽章

主催：ベーゼンドルファー東京 協賛：東京芸術大学

ストーリー性の高い曲を想像力と華麗な技巧で



木本さんのブラームス「ピアノ・ソナタ 第1番 ハ長調 Op.1 より 第1、第4楽章」の演奏ののち、桑原さん登場。

桑原さんのプログラムはストラヴィンスキーの「ペトルーシュカ」からの3楽章。もともとのバレエ曲を、作曲家自身が編曲したピアノ独奏曲である。

人気アニメ「のだめカンタービレ」で聴いてから、いつか弾いてみたいと憧れていたという桑原さん、この夏の海外レッスンでも勉強されてきたとのことで、今回が披露3回目。

オリジナルはオーケストラによって演奏されるこの曲、それだけに音が多く難しい箇所が多い難曲であるが、舞曲の軽やかさを保ちながら、重く厚みのある音色を響かせてくれた。激しい指の動きは驚くほど。客席のみなさんも、首を伸ばして、くいいるように桑原さんの演奏を見つめていた。



アンコールには、2人の連弾で応えてくれた

アンコールには、桑原さんと木本さんの2人による連弾で、ドヴォルザークのスラブ舞曲作品72-2を披露してくれた。2人は東京藝術大学附属高校時代からの同級生で息もぴったり。

この曲は、少し前に学校での「連弾による演奏」の試験の際にも2人で弾いた曲だったとのこと。合わせも十分だったようで、とても優美な演奏を聴かせてくれた。

インスピレーションとイマジネーションを膨らませて



演奏後の桑原さんに話を聞いた;

ーこの曲にはどんな想いを込めて?

「・・・バレエ音楽ですので、はっきりとストーリーがあります。ペトルーシュカが恋をして死んでしまうまでのストーリーを頭の中においています」

「・・・オーケストラの楽譜では、特に3楽章にいろいろなサブタイトルがついています。ピアノの楽譜にはサブタイトルはないのですが、サブタイトルやオーケストラ版の音のイメージをもとに、ストーリーを追い、想像で補いながら弾くように心がけています」

「・・・オリジナルはオーケストラ曲ですので、それをピアノ1台で弾くということは、1人オーケストラのようなところもあります」と桑原さん。

オーケストラの音からインスピレーションやイマジネーションをもらっているのだそうだ。



ランチタイムという短い時間にもかかわらず、聴きごたえのある全3曲。

思いきりよく、すがすがしく弾きあげてくれた。素敵な演奏でした。

翌日12月19日(土)には、「桑原志織 Xmasピアノ・リサイタルーフレッシュ名曲キャンペーンコンサート」@保谷こもれびホールが予定されており、本日のペトルーシュカも含め、5曲が披露されるもよう。連日の演奏会。桑原さん、リサイタルでも素敵な演奏を!

〈プログラム〉

木本秀太

ブラームス／ピアノ・ソナタ 第1番 ハ長調 Op.1 より
第1、第3楽章

桑原志織

ストラヴィンスキー／ペトルーシュカからの3楽章

木本秀太 & 桑原志織

ドヴォルザーク／スラヴ舞曲 op.72-2

使用ピアノ: ベーゼンドルファー Model290 インペリアル

東京藝術大学 学生による



ランチタイムコンサート Vol.15

2015年12月18日(金) 12:15-12:45(12:00開場)

入場無料

ベーゼンドルファー東京 サロン



木本 秀太 東京藝術大学 音楽学部2年

スチームス

ピアノ・ソナタ 第1番 八重調 Op.1 より
第1、第4楽章



薬原 志織 東京藝術大学 音楽学部2年

ストラヴィンスキー

「ペトルーシュカ」からの3楽章

このプログラムは都合により変更になる場合がございます。
この場を以て断念、持退、変更の際はご遠慮下さいませようとお断りいたします。



左側：ピアノ・ベーゼンドルファー・ホール、右側：ピアノ・ベーゼンドルファー東京

東京藝術大学 学生によるランチタイムコンサートについて
東京藝術大学の学生による、音楽の聖域で生まれたピアノ「ベーゼンドルファー」での演奏をお楽しみください。ランチタイムコンサートシリーズです。各ホールに定員にお申し込みの枠より30分程度のプログラム構成となっておりますので、最終受付は前日の午後6時を過ぎぬようご注意ください。
毎日1回、毎日定員に余裕を予定しております。

■実施日時 12月18日(金) 12:15-12:45 会場：聖本会館、音楽後子

Bösendorfer TOKYO

〒154-8721 東京都目黒区本町1-32-2(ハーモニータワー1F) TEL:03-6697-9199
地下鉄「中目黒」駅1番出口そば「中目黒上野原通」徒歩徒歩5分
営業時間：10:00-18:00 定休日：金曜日 <http://boesendorfer.jp/>
主催：ベーゼンドルファー東京 協力：東京藝術大学



【コンサート・プログラム】



東京藝術大学 学生による

ランチタイムコンサート Vol.15

2015年12月18日(金)

12:15-12:45 (12:00開場)

ベーゼンドルファー東京 サロン

◆プログラム◆



本本 秀太

東京藝術大学 ピアノ科3年

スチームス

ピアノソナタ 第1番 第1楽章 Op.1-1

第1、第4楽章



浅原 志織

東京藝術大学 ピアノ科2年

ストラヴィンスキー

「マトネージュ」からの3楽章

主催：ベーゼンドルファー東京 協力：東京藝術大学

「東京藝術大学 学生による ランチタイムコンサート」について

東京藝術大学が主催する本公演は、海軍省の協賛で実現されたピアノ・ソロ・ランチタイムコンサート/ベーゼンドルファー/2006年開始以来、2015年12月まで10回のランチタイムコンサートで、本公演の発展と発展の場として、演奏者や聴衆の両方にとって大切な場となっており、毎年好評・高評価に実施されてまいりました。

2016年1月15日(日) 出演：浅本由美 眞藤真子

ベーゼンドルファー東京のご案内



本公演の会場として、ピアノの音色と演奏の魅力を最大限に引き出すピアノ・ソロ・ランチタイムコンサート/ベーゼンドルファー/東京。毎年、高評価・高評価に実施されてまいりました。

ベーゼンドルファー東京 今後の様子

- 12/24(木) 東京藝術大学ランチタイムコンサート Vol.19
12:15-12:45 入場無料 出演：水戸麻衣子
- 1/5(金) 東京藝術大学ランチタイムコンサート Vol.20
12:15-12:45 入場無料 出演：水戸麻衣子
- 1/15(金) 東京藝術大学ランチタイムコンサート Vol.21
12:15-12:45 入場無料 出演：水戸麻衣子
- 2/14(日) 東京藝術大学ランチタイムコンサート Vol.22 黒野 華梨のピアノコンサート
14:00開場 14:30開演 全席 ¥3,000(税込)
※観覧料 ¥1,000(税込) ¥2,000(税込)

ベーゼンドルファー東京 ショッピングサービスのご案内

ショッピングサービスは、ピアノの音色と演奏の魅力を最大限に引き出すピアノ・ソロ・ランチタイムコンサート/ベーゼンドルファー/東京。毎年、高評価・高評価に実施されてまいりました。

ショッピングサービスは、ピアノの音色と演奏の魅力を最大限に引き出すピアノ・ソロ・ランチタイムコンサート/ベーゼンドルファー/東京。毎年、高評価・高評価に実施されてまいりました。

ショッピングサービスは、ピアノの音色と演奏の魅力を最大限に引き出すピアノ・ソロ・ランチタイムコンサート/ベーゼンドルファー/東京。毎年、高評価・高評価に実施されてまいりました。

Beethovenhalle TOKYO ベーゼンドルファー東京

東京都中央区本町1-12-2、1階・2階・3階・4階
TEL: 03-6681-0788 営業時間 10:00-18:00(水曜定休)
<http://beethovenhalle.jp/>